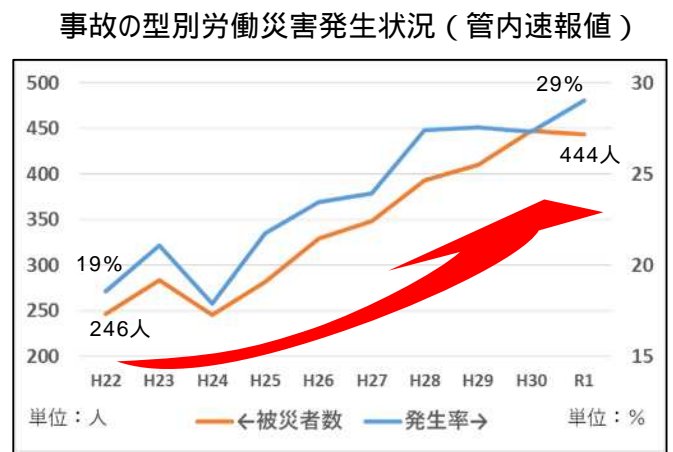
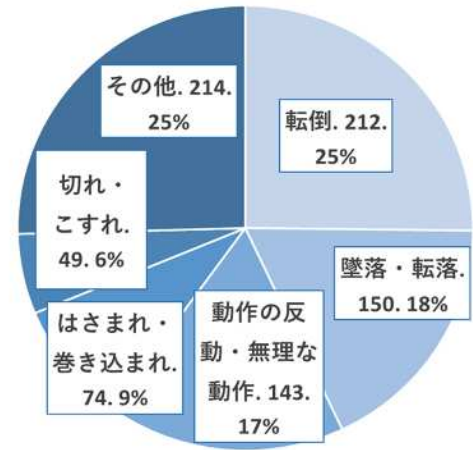
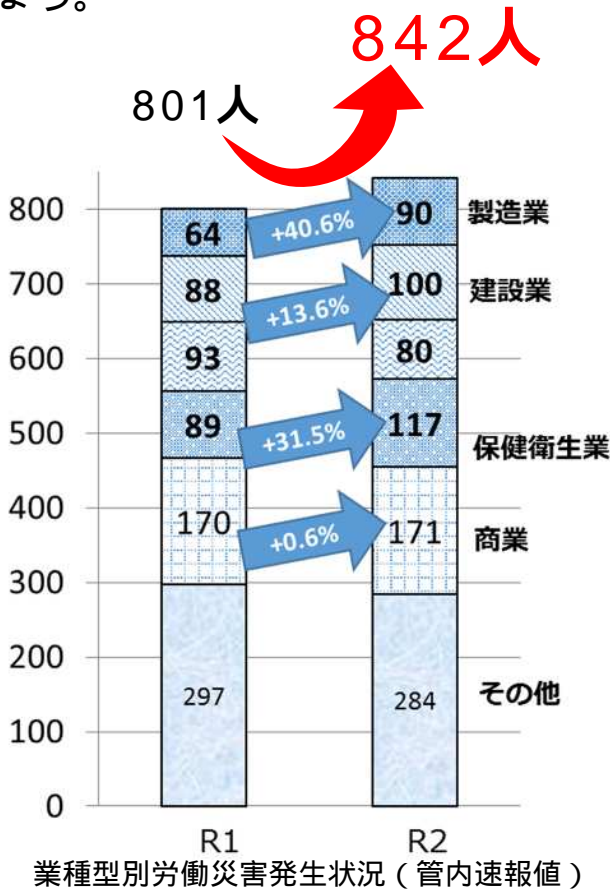


福岡中央署管内における労働災害が増加！

福岡中央労働基準監督署管内における労働災害による死傷者数（休業4日以上）は、8月末現在842人（前年同月比5.1%増加）です。

以下の労働災害の傾向を踏まえ、各事業場における対策を進めていきましょう。



発生状況のポイント

- 製造業、建設業等多くの業種で災害が**増加**
- 件数トップ**の「転倒」は被災者の4人に1人で発生、次いで「墜落・転落」、「動作の反動・無理な動作（腰痛など）」の順で多く発生
- 60歳以上の高年齢労働者の被災者数は**過去10年で1.8倍に増加**

労働災害発生状況

作業靴を清掃するために靴洗い場へ移動した際、**タイルに足を滑らせ転倒し、左腕を骨折**（製造業、60代女性）

戸建て住宅の屋根の補修作業を行っていたところ、軒先から**地上へ墜落して死亡**（建設業、20代男性）

店舗の倉庫内で、段ボール箱の間に足を入れてトイレトーパーを取って**体の向きを変えたときに右足首を捻って休業**（商業、40代女性）



転倒による災害は、業種を問わず多発しています。

災害防止チェック項目

転倒対策



通路、階段出入口に物はないか
床の水たまりや氷、油はないか
十分な明るさ（照度）はあるか
転倒予防体操やリスク評価チェック票を活用しているか

腰痛対策

体重に合わせた1人当たりの重量制限を知っているか
重量物の重量は表示されているか
重心を低くするような姿勢をとっているか

その他

労働災害を予防するための安全衛生教育を行っているか
災害事例、ヒヤリハット事例等から労災リスクを洗い出し、**対策の優先順位**を検討（リスクアセスメント）しているか

エイジフレンドリーガイドラインの活用（高齢労働者関連）

エイジフレンドリーとは、「高齢者の特性を考慮した」を意味する言葉

- ・身体機能の低下を補う設備・装置の導入
- ・利用者の事故防止に関する事例を活用 ほか



STOP!
転倒災害
プロジェクト



職場における
腰痛予防
対策指針



エイジフレ
ンドリーガ
イドライン
等



リスクアセスメン
トの実施支援
システム（職場
のあんぜんサイ
ト内）



参考資料、Webサイト

教材・事例

職場のあんぜんサイト（リーフレット、動画、災害事例等安全衛生の総合情報）
転倒・腰痛防止用視聴覚教材



健脚ぐるぐる体操



あんぜんプロジェクト

各事業場での取組を参照できます。プロジェクトメンバーも募集中！



講習会・セミナー（予約必須）

働く高齢者のための安全衛生管理セミナー（福岡会場12/3（木））
腰痛予防対策講習会（福岡会場10/28（水）） 保健衛生業、運送業



その他

新型コロナウイルスに関するQ&A（企業の方向け）
○働く方・経営者への支援などのリーフレット一覧



（新型コロナウイルス感染症）



福岡中央労働基準監督署 安全衛生課

福岡県福岡市中央区長浜2-1-1

電話：092-761-5608 FAX:092-761-5616